

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)のメールマガジン第138号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

◆今号の内容

1. トピック
2. これからの活動情報
3. コラム『リーダーシップの在り方～ベトナムからのレポート』大和証券株式会社 根岸真美 氏

1. トピックス

◆第12回理事会・総会

<2. これからの活動情報>をご覧ください。

◆年会費のお願い

2021年度(令和3年)会費請求のお知らせをメールでお送りさせていただいております。会員の皆様には、本年度も是非ご協力のお力添えをいただければ幸いです。

2. これからの活動情報

◆第12回理事会・総会

次の要領で開催いたします。会員の皆様はご出席賜りますようお願い申し上げます。なお、開催通知は6月11日(金)にお送りする予定です。

日時:6月24日(木)(理事会13:00～14:10、総会14:20～15:00)

場所:オンライン会議

◆第20回大学対抗交渉コンペティション

日時:2021年11月6日(土)・7日(日)

場所:上智大学及びオンライン会議

◆交渉コンペティション オンライン・プレ・ミーティング

日時:9月5日(日)

場所:オンライン会議

◆交渉コンペティション 審査員説明会

日時:1回目 10月9日(土) 10:00～12:00(日本語)

2回目 10月16日(土) 10:00～12:00(日本語) 14:00～16:00(英語)

場所:オンライン会議

3. 今月のリーダーシップ情報【コラム／column】

大和証券株式会社 ハノイ駐在事務所
所長 根岸真美 氏

「リーダーシップの在り方～ベトナムからのレポート」

ベトナムに駐在して4年目になります。新型コロナの蔓延が始まってから約2年は日本に帰国していません。帰国しようと思えばできますが、異国ながら、ベトナムのほうが安全だと思っています。それほど安定しています。

ここで発揮されているのは、社会主義国の強力なトップダウン型のリーダーシップです。政府の対応は早く、市中感染が確認され次第都市は封鎖されます。生活に不自由はありますし、政府から発されるメッセージは多くはありません。封鎖の基準、解除のタイミング…。諸外国が国民説明の義務を果たそうと四苦八苦しているのを見ると、今まで理想像として描いていた民主主義型のリーダーシップの在り方に疑問を感じています。現在に至るまで、ベトナム政府はコロナ蔓延をきっちり抑え込み、実績も出して、国民の信頼をさらに高めているようです。

政府だけではなく、ベトナムでは企業もトップダウン型リーダーシップが大半を占めています。ドイモイ政策からまだ時間がそう経っていないのもあり、創業者が会社のトップに君臨し大企業の多くがファミリー経営であることも関係しています。意思決定が早いので、スムーズな時は良いのですが、急な心変わりや振り回される事も多く、ファイナンスアドバイザーとしては心労が絶えません。

トップダウンに対局する在り方としては、“羊飼い”型でしょうか(ハーバード流 逆転のリーダーシップ: リンダ・A・ヒル)。先頭に立つのではなく、背後から指揮して、集団の力を最大化させるというものです。企業組織単位で考えても、多様化が進んだ社会では理想のように思います。ただし集団のコントロールには時間がかかり、意思決定が遅くなるというデメリットもあります。リーダーの在り方も1つではなく、場面によって使い分ける必要があるのでしょうか。

ところで、若輩の身でありますので、今回のコラムの執筆は非常に難しいものがありました。自分のリーダーシップのスタイルがまだ客観視できていないままですが、最近多くの企業で導入されている、部下からの360度評価で気が付かされる事も多くあります。日々精進。

情報募集中

メールマガジン「グローバルリーダーシップ通信」で、
会員の皆様に発信されたい内容や活動等がございましたら、
毎月20日頃迄に事務局までご連絡下さいますようお願い致します。

本メールマガジンについて

配信先ご変更や配信ご不要の場合は、件名に「配信先変更」又は「配信不要」と明記してglea@npo-glea.org迄ご連絡下さい。

=====
発行元：NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション

発行責任者：野村 美明

編集者：GLEA事務局 神谷留奈

(TEL)070-6560-2633

(FAX)06-6853-3081

(E-mail)glea@npo-glea.org